## 暮らしの

### 町内会活動

地域の安全・安心を守る町内会の主な活動を紹介します

#### ■「いざ」「もしも」の備え

防災・防犯・交通事故防止 のため、日頃から防災訓練 や地域パトロールなどを実



#### ■情報のお知らせ

町内会のお知らせや市の広 報紙など、生活に役立つ情 報を共有



#### ■地域をきれいに

ごみ集積所の管理や、道 路・公園の清掃、緑化活動 等を行い、快適な環境を維



#### ■ふれあいの場づくり

高齢者や子どもの見守り活 動のほか、住民の交流の場 として、お祭りなどの行事



#### よりよい まちへ! インタビュー

地域の活性化に向け活動する町内会の方にお話を伺いました



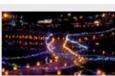
※「つながり」を大事に

小学校で出前講座を開いたり、 子どもたちの勉強を手伝ったりす るなど、さまざまな年代の人が交 流できる場を大事にしています。 また、地域の安全・安心を守るた め、雪かき隊や草刈り隊が、通学

路を中心に活動を行っています。手伝ってくれる人もいて、 こうした輪が広がればと思っています。

令和元年からは、毎年冬に「ライトアートin折立」を行 っています。「折立地区にはお祭りがないので、何かでき ないか」という小学生の発案で始まりました。学校や市民 センターなどを中心に地域で協力して運営し、子どもたち の手作りのイルミネーションやランタンが公園を彩ります。

来場者も年々増え、皆さん毎年 楽しみにしています。幅広い年代 が交流し、地域に関心を持つ機会 になっていると思います。こうし た地域の人との触れ合いを通して、 ▲ライトアートin折立 折立地域が子どもたちにとっての (令和3年)



ふるさとになっていってくれたらうれしいですね。

地域の集会所では、趣味のサークル活動も盛んに行われ ています。住民同士でお話ししながら、趣味を楽しむこと は健康や生きがいにもつながります。地域で安心して暮ら し続けるには、横のつながりが大切。コロナ禍でなかなか 思うように活動することが難しいですが、つながりが絶え ないよう、地域での交流を続けていきたいです。



☆ 地域の「楽しみ方」を見つける

桂地域では、「桂デジタルコミ ュニティ」と名付けたシステムを 導入しています。スマートフォン を使って、町内会や社会福祉協議 会などの団体同士で、防災物品の 備蓄一覧やイベントなどの地域の

お知らせを一斉に共有できるものです。 速やかに情報を発信できるので、災害時 の連絡にも役立ちます。戸別訪問と組み 合わせて活用する要援護者支援の仕組み も考えています。デジタル機器に苦手意 識のある方にも慣れてもらえるよう、市 民センターと連携して講座を開き、皆さ



んが活用できるよう取り組んでいます。

また、「桂音頭」の復活にも力を入れています。桂の魅 力を歌ったこの音頭を地域の宝として育み、後世に伝えて いきたいという思いから、「桂音頭を踊り隊」を立ち上げ、 歌詞や振り付けをみんなで考えた令和版「桂音頭」を制作 しました。ポップス版も作って子どもたちに踊ってもらっ たり、高齢者の健康体操に取り入れたりしながら、幅広い 年代に広めていきたいと考えています。

コロナ禍で町内会活動を見直すきっかけになった一方で、 みんなで集まり話し合う大切さも実感しました。地域の中 で多くの人と出会い、楽しみを見つけながら活動していま す。まずはできることから、少しずつやってみる。それが、 地域全体の活性化につながるのだと思います。

#### 町内会に加入するには

お住まいの地域の町内会長や役員・班長にご連絡ください。連絡先 が分からない場合は、区役所・宮城総合支所まちづくり推進課、秋保 総合支所総務課(☎は9ページ)にお問い合わせください。

この特集に関する お問い合わせは、地域政策課 ☎214·6129、FAX214·6140





# 住みよいまち・・・

地域活動の中核を担い、私たちの生活を身近で支えてい る町内会。市は、町内会と協働で、暮らしやすく魅力的な まちづくりを進めています。











#### 民の世代を超えた交流の機会づく 組みを始めた町内会も 工夫を重ねながら活動を 情報の伝達手段にSNS 地域の支え合 した防災訓練や住 ながって 生活環境を守 内会の精力的 入れる等、 ながらも、 コロナ禍を やま か 感 地

みやす

支え合うことが

大切で

るた

会にあまり

みが

な

# 町内会を応援!

昨年創立50周年を迎えた仙台 市連合町内会長会と連携し、町内 会活動を応援します。「仙台弁こ けし」が、動画で町内会活動を紹 介するほか、市バス・地下鉄の車 内広告などに登場します。詳しく は市ホームページ (10月25日公 開)をご覧ください。

題を抱える し合い 活動の 手不足や加

Ō

んか かんぱん かんしてみま

重要性を広く発信します。等を通じて、町内会の活動やその

3 | 仙台市政だより 令和4年 (2022年) 10月号